

## 1 「まちゼミ」とは

お客さまに満足・感動してもらい、  
お店やわがまちのファンを増やす  
“三方よし”の取り組みです。

具体的には、お店の人が講師となり、少人数制で参加者に無料のゼミナールを開催する取り組みで、プロの知識やノウハウを教えるコミュニケーション事業です。まちをあげて事業者同士が連携しながら開催することで、個店、お客さま、まち・商店街すべてにおいて、新たな価値を創造し、持続可能かつ多様性に富んだ良質な「まちづくり」を実現します。

2022年4月現在47都道府県425地域で開催。約29,000社が参加。全国で展開されている結果をもとに、多摩市独自でもPDCA(Plan[計画]、Do[実行]、Check[測定・評価]、Action[対策・改善])サイクルを回していくことで、継続的に効果を上げ続けられる仕組みが整っています。

### 事例

「あきる野まちゼミ」サニーシステムさま

[課題] 一般客向け事業に活路を模索する空調工事業者ですが、下請け業務が激減。その一方、工事が出る廃材処理に困っていました。

[まちゼミに参加] 社員が企画した

● 狙い1 一般客に会社を知ってもらう

● 狙い2 産業廃棄物減少を目指す

[結果]

● お客さまから好評で全回満席。参加者に会社を知ってもらうことにつながった。

● 口コミが広がり一般顧客からの注文が増えた。社員のモチベーションがUP!



### 17 銅管でアンティークランプシェード作り

冷媒管の中にある銅管を利用して、アンティークな引掛ペンダントランプを作りませんか。

開催日  
① 10/13 水  
② 10/28 木  
③ 11/12 金  
10:00-11:30

教材費:1,000円 会場:自分のお店  
対象:どなたでも 講師:小坂 麻里  
(お子様連れでも大丈夫です)  
持ち物:特になし  
定員:各3名

(有)サニーシステム あきる野市二宮1156-27  
定休日:土曜日・日曜日・祝日 受付時間 9:00~16:00  
営業時間 9:00~17:00 申込 042-559-5472

## 2 今回の提案に至ったきっかけ

**A** オミクロン株の感染拡大、円安、世界情勢不安等で個店への影響が過去にないほど広がっているなかで、商店活性に向けた取り組みは必須。「まちゼミ」は全国で実行され、大きな効果を生んでいる事業であり、近隣では調布市、府中市、日野市、八王子市、あきる野市、橋本などで継続的に開催されています。個店同士、商店街同士が交流を深め、お互いが元々持っている知識・ノウハウを最大に活かしながら、共に苦境を脱していくために最適な事業と考えます。

**B** 住民の高齢化が進む一方、コロナ禍で住民同士のコミュニティの場が減少しています。地域住民同士が、購買を気にせず、地域の個店で気軽にコミュニケーションを図ることができる「まちゼミ」は、新たなコミュニティの場となりえると考えます。

## 3 今回の提案事業の計画内容・実施スケジュール

■ 令和5年1月から2月中旬に開催予定。

■ それまでに松井洋一郎氏(『岡崎まちゼミの会』代表)の研修を3回受け、まちゼミの目的、ルール、集客方法等について学びます。

■ 開催後は同氏による振り返り研修を実施。良かった点の共有や改善点の確認を行い、次回以降につなげていきます。

■ 必要経費(案)

| 項目    | 内容   | 予算  |
|-------|--|---|
| 研究費   | 松井洋一郎氏講師招聘<br>研修3回                             | 173,400円                                  |
| 販売促進費 | チラシ2万部・のぼり旗(50枚)<br>参加者アンケート等<br>SNS有料広告<br>資料 | 362,000円<br>10,000円<br>30,000円<br>50,000円 |
| 合計    |  | 625,400円                                  |

## 4 「多摩市まちゼミ」開催による期待効果

● 個店主が自身の事業の強みを再認識し、事業を発展!

● 商店街が活性化され、空き店舗を解消!

● 経営者が高齢化する個店の後継者を発掘!

● 商店街に出店したい!と考える新たな事業主の発掘!

多摩市が50周年を迎え、次の50年に向けてスタートを切った今、若手世代の事業主・住民が増加し、より一層魅力的なまちへと発展していくためには、個性豊かな個店がイキイキと商売を営むまちであることが重要なポイントです。

私たちが提案する「多摩市まちゼミ」は、「このまちで良かった」「このまちに住みたい」と世代を超えて思っていただけのまちづくりの一翼を担える事業と考えます。